

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TODAY児童デイサービス白金		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 15日		～ 2025年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2024年 12月 15日		～ 2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員の年齢層の大きいこと、児童の実態に合わせた幅広い療育ができています。	レクリエーションやクッキング、工作などを行う際は年齢の近い児童同士で行うだけでなく年齢の違う児童同士の交流を促し、多くの人とコミュニケーションを取れる機会を作っています。	レクリエーション等の時間だけでなく一日を通してより児童同士が交流を深める事の出来る環境を作っています。
2	ラインワークスや日々のコミュニケーションの充実から児童一人一人の特性や注意事項を把握できているため、緊急時の際などの対応が素早くできています。	毎日の終礼時に些細な事でも職員同士で情報を交換し、記録をとっている。	終礼時での情報共有だけでなく営業中での情報共有の合理化を考えより事故をなくしていく。
3	施設の近くに2号館があるため、イベントなどの際は協力をして療育を行うことができる。	土曜、日曜日や長期休みの際に合同レクリエーションを行ったり、ハロウィンやクリスマスのイベントの際にも2号館との合同イベントを行い幅広い交流と療育を行っている。	室内のイベントだけでなく外に出るお出かけイベントを合同で行って行く。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お出かけなどの外出イベントが少ない。	コロナ禍などもあり児童と外出を経験した職員が少ないため危険性が高く、外出が少なくなっている。	行き成り全員で外出するのではなく、近場を少人数でお出かけをして徐々に職員も児童も慣れていってもらう。
2	虐待防止や身体拘束適正化委員会をやっているが、もっと回数を増やして知識を深めていきたい。	決められた回数を行っているが、もっと回数を増やして知識を深めていきたいと意見があった。 送迎等も行っているためゆっくり時間が取れていない。	終礼時や、送迎の組み方を調整しもっと時間を作っていく。
3	建物が少しずつ老朽化している。	経年劣化によるものであり、気になるところは修繕を行っているが素人では全て直すことが難しい	積極的に修繕を行っていき、どうしても職員で改善ができない場合は、業者等に依頼できないか上長に相談していく。